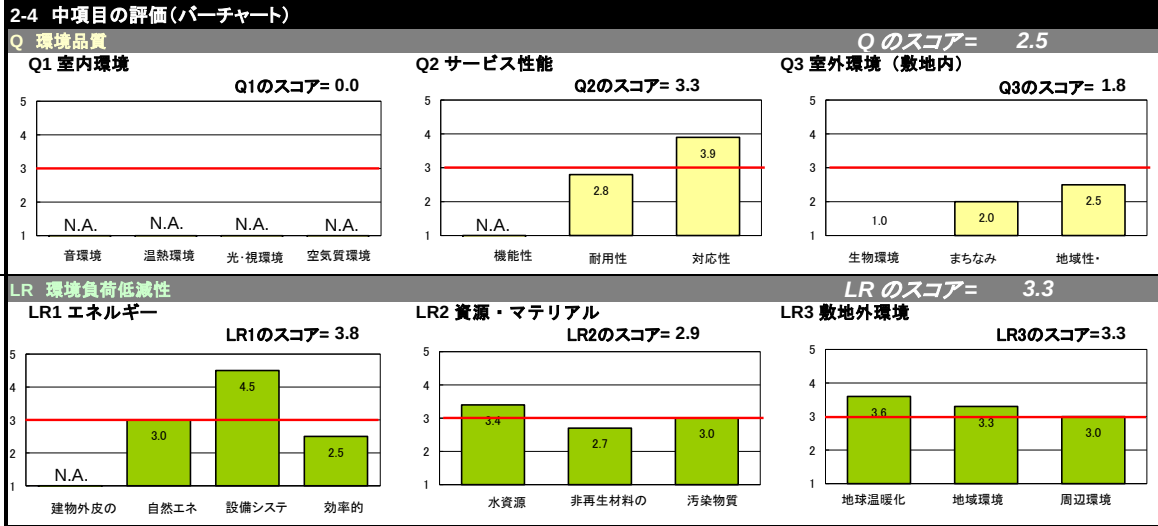
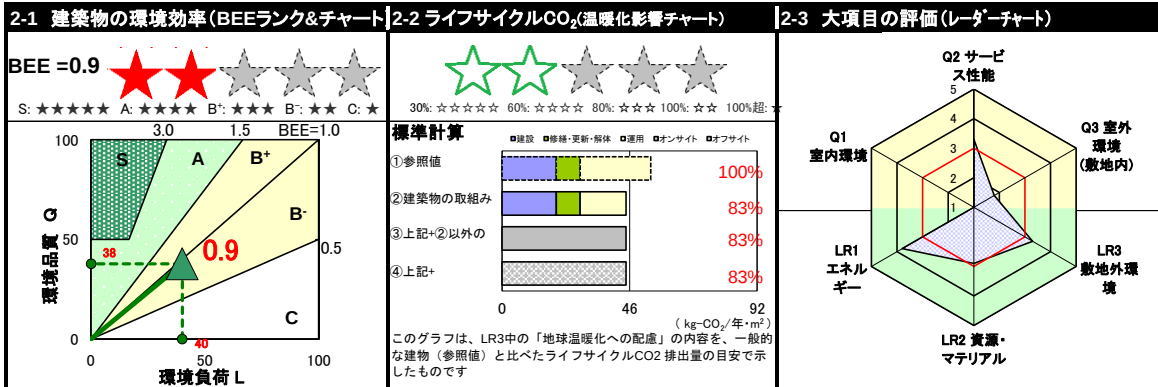




評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	丸鳥卵株式会社 牟呂工場	階数	地下0階地上2階
建設地	愛知県豊橋市牟呂町字西明治川東63番、64番1、64番2	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	45 人
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2025年7月 予定	評価の実施日	2024年4月23日
敷地面積	3,791 m ²	作成者	小林勝敏
建築面積	2,011 m ²	確認日	2024年4月30日
延床面積	3,849 m ²	確認者	小林勝敏



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.6	1.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.1	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
丸鳥鶏卵株式会社 牟呂工場

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体	
	重点項目																評価点
Q 建築物の環境品質																	2.5
Q1 室内環境																	
1 音環境																	
1.1 室内騒音レベル																	
1.2 遮音																	
1 開口部遮音性能																	
2 界壁遮音性能																	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																	
1.3 吸音																	
2 温熱環境																	
2.1 室温制御																	
1 室温																	
2 外皮性能																	
3 ゾーン別制御性																	
2.2 湿度制御																	
2.3 空調方式																	
3 光・視環境																	
3.1 昼光利用																	
1 昼光率																	
2 方位別開口																	
3 昼光利用設備																	
3.2 グレア対策																	
1 昼光制御																	
3.3 照度																	
3.4 照明制御																	
4 空気質環境																	
4.1 発生源対策																	
1 化学汚染物質																	
4.2 換気																	
1 換気量																	
2 自然換気性能																	
3 取り入れ外気への配慮																	
4.3 運用管理																	
1 CO ₂ の監視																	
2 喫煙の制御																	
Q2 サービス性能																	3.3
1 機能性																	
1.1 機能性・使いやすさ																	
1 広さ・収納性																	
2 高度情報通信設備対応																	
3 バリアフリー計画			独自														
1.2 心理性・快適性																	
1 広さ感・景観 (天井高)																	
2 リフレッシュスペース																	
3 内装計画																	
1.3 維持管理																	
1 維持管理に配慮した設計																	
2 維持管理用機能の確保																	
2 耐用性・信頼性																	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振																	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																	
2 免震・制震・制振性能																	
2.2 部品・部材の耐用年数																	
1 躯体材料の耐用年数																	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			②														
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																	
6 主要設備機器の更新必要間隔																	
2.4 信頼性																	
1 空調・換気設備																	
2 給排水・衛生設備			②														
3 電気設備																	
4 機械・配管支持方法																	
5 通信・情報設備																	

3 対応性・更新性				0.4	3.9	0.48	-	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			②	0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	-		5.0	0.60	-	-	-		
2	空間の形状・自由さ	3.0		5.0	0.40	-	-	-		
3.2 荷重のゆとり				3.0	4.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	-		3.0	0.17	-	-	-		
2	給排水管の更新性	3.0		3.0	0.17	-	-	-		
3	電気配線の更新性	3.0		3.0	0.11	-	-	-		
4	通信配線の更新性	3.0		3.0	0.11	-	-	-		
5	設備機器の更新性	3.0		3.0	0.22	-	-	-		
6	バックアップスペースの確保	3.0	3.0	0.22	-	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.57	-	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④	-	3.0	0.50	-	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		-	2.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性										3.3
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.65	3.0	4.5	0.63	-	-	-	4.5
4 効率的運用				0.2	2.5	0.25	-	-	-	2.5
集合住宅以外の評価				1.0	2.5	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	2.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	2.9
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1	節水		3.0	4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.67	-	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63	-	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減	② 独自	-	2.0	0.07	-	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	3.0	0.25	-	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.21	-	-	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	1.0	0.21	-	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	-	-	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		独自	3.0	4.0	0.25	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	3.0	1.00	-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	-	-	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			①	-	3.6	0.33	-	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				0.3	3.3	0.33	-	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止				-	5.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.5	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自	-	3.0	0.25	-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	-	3.0	0.25	-	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		-	1.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自	-	3.0	0.33	-	-	-	-	
2	振動	独自	-	3.0	0.33	-	-	-	-	
3	悪臭		-	3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70	-	-	-	-	
2	砂塵の抑制		-	1.0	-	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		-	3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70	-	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.9	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 丸鳥鶏卵株式会社 牟呂工場

計画上の配慮事項	
総合	景観との調和と使用設備に配慮している。
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	階高を高くし、ゆとりのある空間を作っている。
Q3 室外環境(敷地内)	景観との調和に配慮している。
LR1 エネルギー	BEI=0.65である。
LR2 資源・マテリアル	LGS下地を使用している。
LR3 敷地外環境	燃焼機器を使用していない。
その他	特になし。